

1. 鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業

(1) バイオ産業の推進

研究成果の事業化や、研究成果を地域産業に活かす事業をミッションとするバイオクラスター形成プロジェクトを山形県とも積極的な連携を行いながら展開する。

【事業】

①産業誘導・産業形成促進・共同研究創出

i. 産学官研究交流推進事業 ※県・庄内地域産業振興センター協同事業

バイオ分野における産学官連携の取り組みを全体的なものとし、バイオ研究シーズを活用した新たな共同研究プロジェクトの推進を目的として、山形県と庄内地域産業振興センターと協同し、研究者等の研究交流会、研究発表会等を開催する。

※H24からの継続事業

ii. 市先端研究産業支援センターへの誘致活動・情報収集

市先端研究産業支援センターへの誘致活動を行うとともに、バイオ産業化に資する最新情報収集活動を行う。

iii. サイエンスパーク構想実現に向けた各種支援

現在進めているサイエンスパークの民間開発を着実に促進するため、各種手続き等への協力や指導を県と連携して行う。本取組は若年層や優れた人材の流入や定着、交流のほか、地域産業の高度化や知識集約型の創造や誘致にもつながる公益性を有することから、優良な事例調査、外部資金等の情報収集を行い、官民一体となった事業展開が図られるように県と連携して各種支援策について検討する。

iv. 合成クモ系繊維を核とした産業戦略

スパイバー社が量産化の基本技術確立した合成クモ系繊維の各事業分野への応用がサイエンスパークエリアで展開されるよう、地元企業との連携や県内外の関連企業の誘致、必要な環境整備などを戦略的に展開していく。

②地元企業等との共同研究の促進

i. 「鶴岡漢方プロジェクト」

漢方生薬の産地化に向け、試験栽培を中心とした諸事業に取り組み、漢方生薬栽培方法の知見獲得を目指す。

※H26実績 生薬試験栽培、栽培検討会議の開催など

ii. 地域バイオマス資源活用研究事業

合成クモ系繊維の事業化促進において構造タンパク質原料の生産プロセスにおける地域バイオマス資源の有効活用の可能性について、ベンチャー企業、山形大学、慶應先端研、県試験研究機関等による研究会を設置し、栽培試験及び利用可能性調査等の研究を行う。

iii. 共同研究シーズ事業化支援事業 ※県・HMT協同事業

メタボローム解析技術の普及、県内企業の慶應先端研等との共同研究による新製品・新技術開発等の芽だし及び共同研究成果を活用した具体的な事業化の支援を、県とHMTと連携して実施する。

③ベンチャー企業創出・育成促進

i. 若手ベンチャー起業応援プロジェクト

市先端研究産業支援センターにおいて、新たなベンチャー企業の誘導・育成を促進するため、若手ベンチャー支援制度の創設やセミナーの開催など各種事業を展開する。

(2) 市民の健康長寿の推進

市民の健康長寿への取り組みとして、「鶴岡みらい健康調査」を慶應先端研、地域医療関係機関及び市において協同実施する。

①鶴岡みらい健康調査の協同実施

※H24からH26までの同意者数実績11,014名（3年間の目標 10,000名）

i. 推進会議の開催

本調査事業の推進を目的として、関係団体間のオーソライズを図りながら、本調査事業の進捗・運営管理や本調査事業の推進に資する諸案件を検討する「推進会議」を開催する。

※平成25年3月16日に推進会議を設置 平成26実績：平成27年3月14日に開催

ii. 推進セミナーの開催

市民の理解促進及び市民への成果還元を目的として、本研究の概要を紹介するとともに、市で取組む意義やコホート研究が生み出す多様な可能性などについて、市民とともに考えるセミナーを開催する。

※H26実績 平成27年3月15日に第3回セミナーを開催

iii. 地域報告会

市民の理解促進及び成果還元を目的として、各地域における保健事業との連携のもと、市民の健康に資する情報とともに、鶴岡みらい健康調査における活動報告、成果の途中経過報告、協力の呼びかけ等を行う。

2. 第5回高校生バイオサミット in 鶴岡 開催事業

日本の科学の将来を支える新しい人材の育成と、科学技術の振興・発展を目的として、バイオサイエンスに興味・関心を持つ全国の高校生が集い、研究発表とディスカッションを行う高校生バイオサミットを開催する。

○日時：平成27年8月2～4日

○会場：鶴岡市先端研究産業支援センター ほか

H26実績 平成26年8月第4回サミットを開催（発表数：63作品、参加者数：162名・50校、教職員36名、表彰交付：文部科学大臣賞、農林水産大臣賞、環境大臣賞、科学技術振興機構賞、慶應義塾賞、県知事賞、市長賞 ほか）

平成27年度 鶴岡市バイオクラスターに向けた取り組み

目的

慶應義塾大学先端生命科学研究所を始めとしたバイオテクノロジーに関する地域ポテンシャルを活かし、高度な研究開発機能の集積、ベンチャー企業などの創出、既存産業の高度化などの産業振興、時代が要請する人材育成など、品格ある都市“次世代イノベーション都市”を目指す地域の発展戦略の基盤を形成する各種事業を実施する。

事業内容

□地域産業に活かす

H24鶴岡漢方PJ 試験栽培開始

- (1) 産業誘導・産業形成促進・共同研究創出
○サイエンスパーク構想実現への各種支援
- (2) 地元企業等との共同研究の促進
○鶴岡漢方プロジェクト
○地域バイオマス資源活用研究
- (3) 地元企業高度化・新産業開拓事業の展開
○鶴岡メディカルビジネスネット



H26鶴岡メディカルビジネスネット 活動の状況

□健康長寿に活かす

- (1) 鶴岡みらい健康調査の協同実施（先端研・医療関係機関・市）
 - 推進会議の開催
 - 推進セミナーの開催
 - 地域報告会の開催
 - 健康政策へ活かすための情報収集



H24鶴岡みらい健康調査 スタート



鶴岡みらい健康調査セミナー

慶應先端研が持つ
研究成果・
教育機能を

□バイオ戦略の構築

- (1) バイオ戦略懇談会
- (2) 国家戦略特区提案

□ベンチャー企業の創出・育成に活かす

- (1) 合成クモ糸繊維を核とした産業戦略展開
- (2) 若手ベンチャー起業応援プロジェクト
- (3) 既存ベンチャー企業の事業拡大を目的とした諸調整

H25.11月に稼働を開始したスパイバー社と小島プレス工業社が共同で建設した試作研究棟



□人材育成、啓蒙・啓発に活かす

- (1) 第5回高校生バイオサミットin鶴岡開催事業
- (2) 鶴岡バイオクラスター推進シンポジウム開催事業



H26高校生バイオサミット 全国から約200名の高校生・指導教諭が鶴岡市に集結

技術活用

人材育成

啓蒙啓発

技術活用

企業高度化

企業創出

事業拡大